



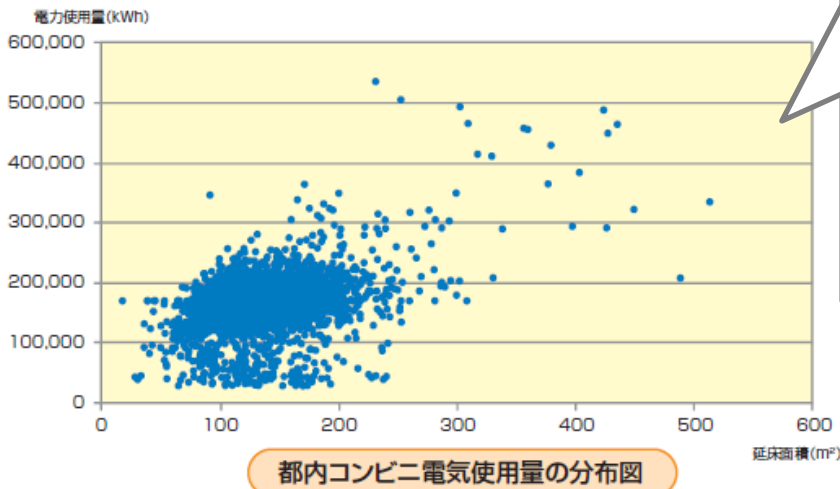
## ■都内コンビニの平均値との比較

◇店舗数 都内 6,236 店（2011 年 8 月末現在 日本フランチャイズチェーン協会調べ）

◇延床面積（1 店舗あたり平均）：約 140m<sup>2</sup>

◇年間電気使用量（1 店舗あたり平均）：164,000kWh

◇年圏電気料金（1 店舗あたり平均）：約 334 万円



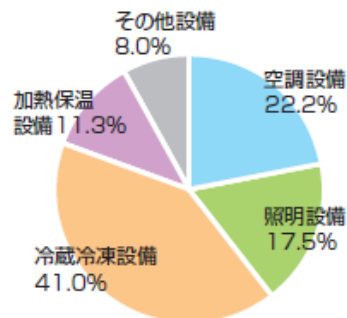
一般的に延床面積が大きいほど、電気使用量は大きくなります。注目すべきは、同じ延床面積であっても、店によって電気使用量に大きな差があることです。



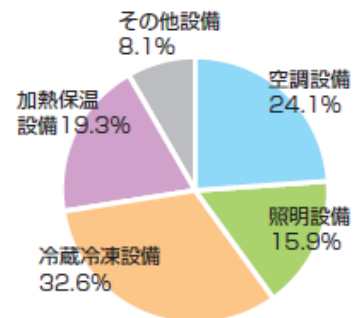
参照：「コンビニ店長のための節電ガイド」東京都環境局・東京都地球温暖化防止活動推進センター

## ■コンビニの電気使用量の設備別シェア

### A店 ビルインタイプ

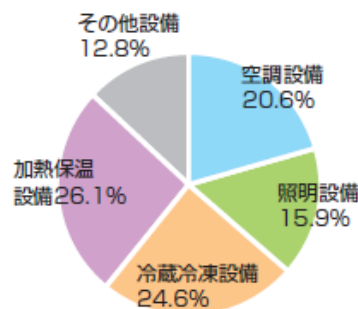


- ・3階建て1階部分使用：125m<sup>2</sup>
- ・フライヤーなし

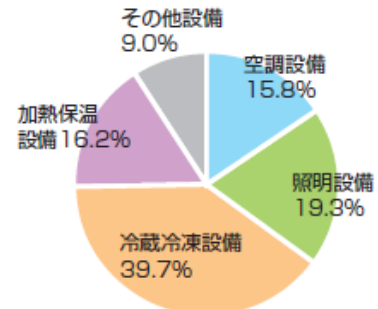


- ・3階建て1階部分使用：159m<sup>2</sup>
- ・フライヤーあり

### B店 単独タイプ



- ・1階建て単独使用：165m<sup>2</sup>
- ・フライヤーあり

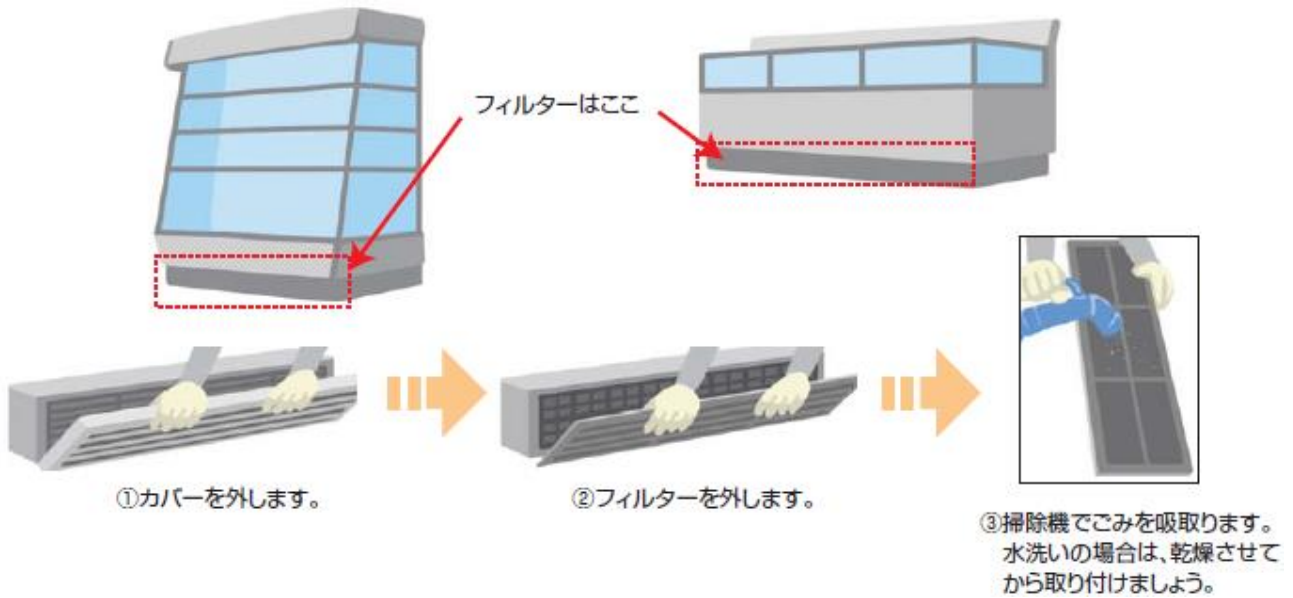


- ・1階建て単独使用相当：103m<sup>2</sup>
- ・フライヤーあり(小型)

参照：「コンビニ店長のための節電ガイド」東京都環境局・東京都地球温暖化防止活動推進センター



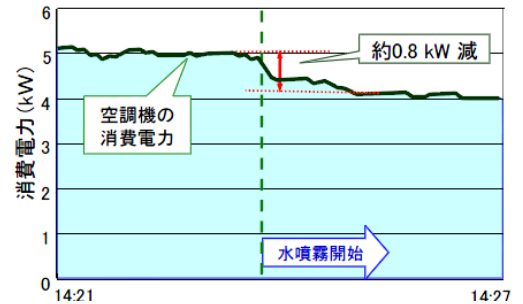
- ・定期的にショーケースのフィルターの清掃を行います。



参照：「コンビニ店長のための節電ガイド」東京都環境局・東京都地球温暖化防止活動推進センター

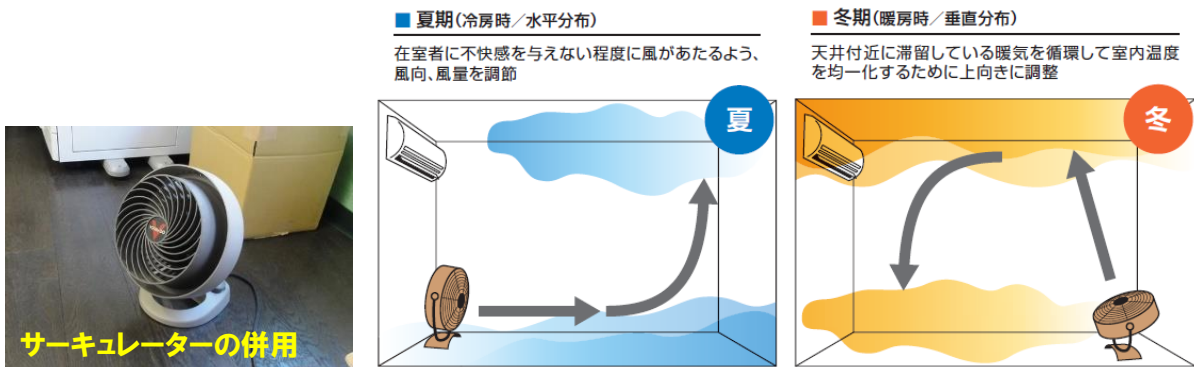
## ②空調機

- ・夏期には室外機への水やりや影を作る工夫（市販カバー・よしずの設置等）により熱交換効率が上がり、電気使用量の抑制につながります。



(参考) 室外機への水噴射前後の消費電力の変化  
「節電・省エネ事例集(平成 25 年 4 月)」四国電力株式会社

- ・店内やバックヤードの冷気・暖気が特定の場所に偏らないよう、サーキュレーター（扇風機）を活用し空気を対流させます（扇風機はエアコンの 1/10～1/20 程度の消費電力量）。



参照：印刷業の省エネルギー対策 東京都環境局東京都地球温暖化防止活動推進センター



- エアコン使用時の室温は、夏季：28℃、冬季：20℃が推奨されています（冷暖房温度の1℃緩和は、空調機の消費電力10%の節減になります）。

通常、レジカウンター周辺の温度は、加熱保温設備が集中するため、売り場の平均的な室温よりも高くなっています。

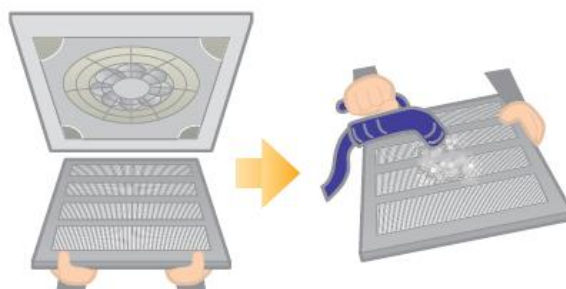
お客様は外から入ってきますので、外気温度よりも売り場温度が少しでも低ければ涼しく、少しでも高ければ暖かく感じます。店内で長時間過ごしているスタッフとは、体感温度が異なることが重要なポイントです。



参照：「コンビニ店長のための節電ガイド」  
東京都環境局・東京都地球温暖化防止活動推進センター

- 中間期（春・秋）、夏の夜間、冬の日中など、過ごしやすい気候で商品の品質管理上問題ないときはエアコンを停止します。特にバックヤードでは、不要な際にはエアコンを停止し、推奨温度を参考に室温管理を徹底します。

- 室内機の吹き出し口のフィルターを定期的（毎月1～2回程度）に清掃します。



カバーを開け、  
フィルターを取り出します。

掃除機でゴミを吸い取ります。  
水洗いの場合は、乾燥させてから  
取り付けましょう。

参照：印刷業の省エネルギー対策 東京都環境局東京都地球温暖化防止活動推進センター

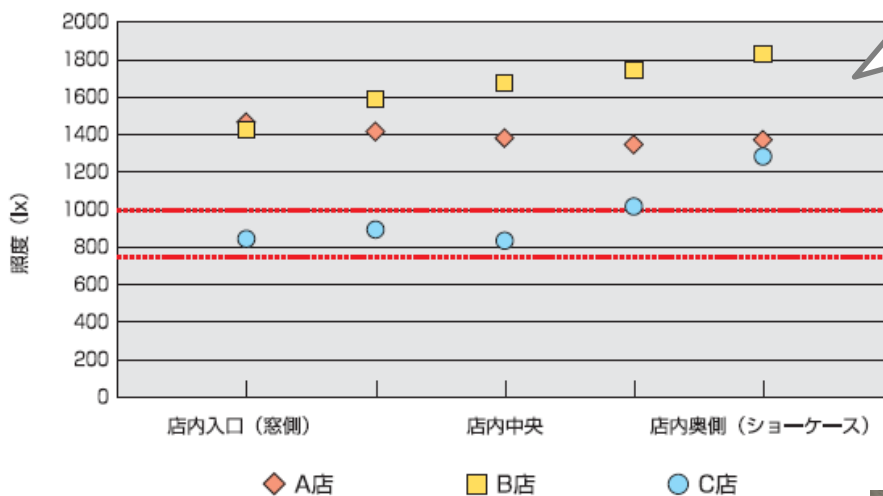
- 室外機のフィンコイルの汚れを定期的を確認して、2～3年に1回程度アルカリ洗浄液を用いて清掃します（専門業者への委託）。洗浄することにより、熱交換効率が約5～10%程度向上します。



参照：印刷業の省エネルギー対策 東京都環境局東京都地球温暖化防止活動推進センター

### ③照明

- 明るすぎる照明は、お客様にとっても好ましいものではありません。売り場の照度を適切な明るさに下げることによって、節電するとともに、売り場の魅力向上につなげます。また、商品の陳列部が周囲よりも明るければ、商品は目立ちます。売り場全体の照度を下げて、商品の照らし方を工夫します。



3店舗の通路部の照度を調査した結果です。店舗により明るさが大きく異なります。750~1000ルクスに設定することが適当です。

JIS 照度基準

参照：「コンビニエンスストアの省エネルギー対策」  
東京都環境局

- ショーケースの部分消灯を行います。
- 外が明るい時間帯では、屋外照明を消灯します。
- 使用頻度の少ないバックヤードでは部分消灯します。
- 人感センサー付き LED 電球の活用等により、トイレ等では照明を自動 ON・OFF にします。



### ④加熱保温設備

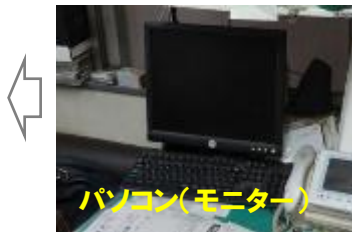
- おでん加熱時のふた閉めを徹底します。ふたを閉めることによって、だしの蒸発を防ぐ効果もあります。
- フライヤーの不使用时は、セーブモードを活用します。また、フライヤーの過熱ヒーターが汚れると、熱の伝わりが悪くなり、余計な電力を消費するため定期的に清掃します。
- ホットドリンクは、必ず常温のものをホットドリンクのショーケースに入れます。冷蔵設備で冷えた状態から加熱すると、余計に電力を消費します。
- 給湯ポットの台数を利用者に応じて変更します。

## ⑤その他

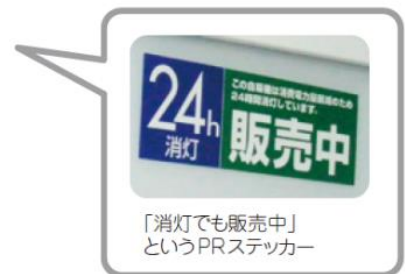
- ・トイレの便座・ウォシュレットは、利用者が快適に活用できる範囲で、夏場の便座ヒーターをOFFにしたり、温水の温度設定を下げます。



- ・バックヤードでは、スイッチ付タップの活用等により、パソコン、コピー、プリンター、その他の機器の不使用时の待機電力を削減します。



- ・自動販売機の照明は消灯します（タイマー設定も可）。



- ・屋外の自動販売機に日よけを設置します。

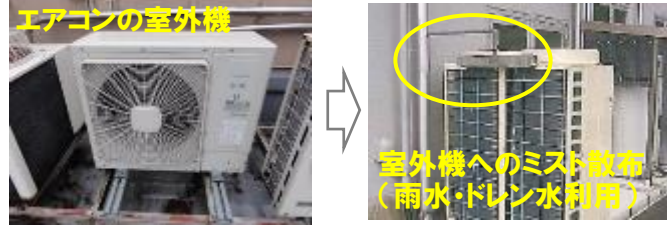


### 3. 設備の更新には、助成金を活用して上手に更新しましょう ※助成を受けるには要件等があります

#### ①空調機の更新


 <p><b>従来のエアコン</b></p> <p>⇒</p> <p><b>高効率エアコン</b></p>	<p>【高効率エアコンに更新】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10年以上前のエアコンを更新する場合は、2～4割程度の電力削減効果があります。</li> </ul>
--	--

#### ②室外機へのミスト散布

 <p><b>エアコンの室外機</b></p> <p>⇒</p> <p><b>室外機へのミスト散布 (雨水・ドレン水利用)</b></p>	<p>【室外機にミスト散布機器設置】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雨水やドレン水を利用し、室外機へミスト散布することにより、エアコンの熱交換効率を上げます。</li> </ul> <p>※製品により様々ですが、環境省の「ヒートアイランド化削減技術実証試験」にて、冷房能力が3～5%アップしたという結果もあります。</p>
--	--

#### ③照明の更新


##### ■ 蛍光灯

 <p><b>蛍光灯</b></p> <p>⇒</p> <p><b>LED</b></p>	<p>【蛍光灯→LED】40W→20Wの場合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2本で年間1,380円程度電気代が節約されます。</li> <li>→10本(5か所)で年間6,900円の節約</li> </ul> <p>※10時間点灯/日、25日営業/月、23円/kWhにより計算</p>
---	---


##### ■ ダウンライト

 <p><b>白熱球</b></p> <p>⇒</p> <p><b>LED</b></p>	<p>【白熱球→LED】60W→12Wの場合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1箇所でも年間3,312円程度電気代が節約されます。</li> <li>→10か所で年間33,120円の節約</li> </ul> <p>※10時間点灯/日、25日営業/月、23円/kWhにより計算</p>
--	--

##### ■ 非常口誘導灯

 <p><b>蛍光灯</b></p> <p>⇒</p> <p><b>LED</b></p>	<p>【蛍光灯→LED】23W→2Wの場合(C級)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1箇所でも年間4,231円程度電気代が節約されます。</li> <li>→2か所で年間8,462円の節約</li> </ul> <p>※24時間・365日点灯、23円/kWhにより計算</p>
--	--

#### ④屋上の遮熱塗料の塗布

 <p><b>屋上</b></p> <p>⇒</p> <p><b>遮熱塗料</b></p>	<p>【屋上に遮熱塗料を塗布】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・屋根の温度上昇抑制により、室内温度の上昇を抑制します。</li> </ul> <p>※条件により様々ですが、真夏で屋根の温度が10～20℃の差が生じるという結果もあり、また「環境省ヒートアイランド対策ガイドライン」より夏期の空調の電気使用量を約6%削減(業務建物)とあります。</p>
--	--



## ⑤窓ガラスへの遮熱フィルム貼付（遮熱塗料）

<p>「節電・省エネ事例集(平成 25 年 4 月)」 四国電力株式会社</p>	<p>【窓の遮熱フィルム貼付】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>名古屋大学の検証結果によると遮熱フィルムを添付した部屋は、何もしていない部屋より電力消費量が9.4%減少したという結果もあります（8月の2週間を検証期間とし、24時間エアコン電源入）。</li> </ul>
--	--

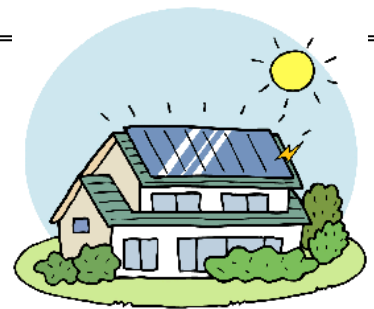
設備更新にあたり、台東区では以下のような支援制度を設けています。  
上手に活用して、効果的な更新を目指しましょう。

### ◆台東区環境課 我が社の環境経営推進事業

- ・エコアドバイザー派遣 : 個々の店舗や事業所にあった省エネ方法を提案します。また、設備更新を検討している場合は、エネルギーの削減効果や、投資回収年の試算を行います
- ・ソーラー診断 : 太陽光発電システムの導入に関する提案を行います
- ・我が社の環境経営推進助成 : 機器更新費用の2割（税抜） 上限 30 万円  
※エコアドバイザー派遣を受けることが条件です  
太陽光の場合は 5 万円/kW 上限 50 万円
- ・高反射率塗料施工助成 : ①2,000 円×助成対象面積 (m<sup>2</sup>)  
②工事費用（税抜）の5割  
①・②どちらか金額の低い方（上限 15 万円）

※上記以外にも「窓、外壁等の遮熱・断熱改修工事」など、助成制度を設けています。  
また、家庭向けの省エネ機器の助成制度もございますので、ご希望の方はご相談ください。

台東区役所環境課 普及啓発・みどり担当 TEL：5246-1281



■参考

節電対策リスト								
対象設備	節電対策	電気使用量 年間削減見込量 (月間削減見込量)		電気料金 年間削減見込額 (月間削減見込額)		見込める節電効果		
						中間期 (春・秋)	夏	冬
① 冷蔵冷凍 設備	A 冷蔵庫ドアの開放時間を減らす	1,041 (87)	kWh	18,738 (1,562)	円	○	◎	△
	B ショーケースの吸排気口をふさがない	639 (53)	kWh	11,502 (959)	円	○	◎	△
	C ロードラインを確保する	639 (53)	kWh	11,502 (959)	円	○	◎	△
	D ナイトカバーを使用する	1,064 (89)	kWh	19,152 (1,596)	円	○	◎	△
② 空調設備	A 売り場・バックヤードのエアコン設定温度 基準を守る	1,905 (159)	kWh	34,290 (2,858)	円	△	◎	◎
	B バックヤードのエアコンを不要なときに停止 する	140 (12)	kWh	2,520 (210)	円	△	○	○
	C 中間期・夏の夜間・冬の昼間に、売り場・ バックヤードのエアコンを可能な限り停止する	6,264 (522)	kWh	112,752 (9,396)	円	◎	◎	◎
	D エアコン使用時に店舗入口を開放しない	1,905 (159)	kWh	34,290 (2,858)	円	△	◎	◎
③ 冷蔵冷凍 設備 & 空調設備 (共通)	A 毎週1回全てのフィルターを清掃する	1,277 (106)	kWh	22,986 (1,916)	円	○	◎	○
	B 室外機に日よけを設置する	2,453 (204)	kWh	44,154 (3,680)	円	△	◎	×
	C 室外機の風通しを良くする	4,967 (414)	kWh	89,406 (7,451)	円	○	◎	◎
④ 照明設備	A バックヤードの不利用部分の照明を消灯する	460 (38)	kWh	8,280 (690)	円	○	○	○
	B バックヤードや売り場の照度を見直す	8,432 (703)	kWh	151,776 (12,648)	円	◎	◎	◎
	C 日中は窓際等の売り場の不要照明を消灯する	3,373 (281)	kWh	60,714 (5,060)	円	◎	◎	◎
	D 屋外照明の点灯時間を短縮する	1,288 (107)	kWh	23,184 (1,932)	円	○	○	○
	E トイレ照明の消し忘れを防ぐ	92 (8)	kWh	1,656 (138)	円	△	△	△
⑤ 加熱保温 設備	A おでん加熱時のふた閉めを徹底する	706 (59)	kWh	12,708 (1,059)	円	○	△	◎
	B フライヤーのセーブモードを活用する	1,135 (95)	kWh	20,430 (1,703)	円	○	○	○
	C ホットドリンクは必ず常温から温める	289 (24)	kWh	5,202 (434)	円	△	△	○
	D 給湯ポットの台数を利用者数に応じて変更 する	515 (43)	kWh	9,270 (773)	円	○	○	○

参照：「コンビニ店長のための節電ガイド」東京都環境局・東京都地球温暖化防止活動推進センター